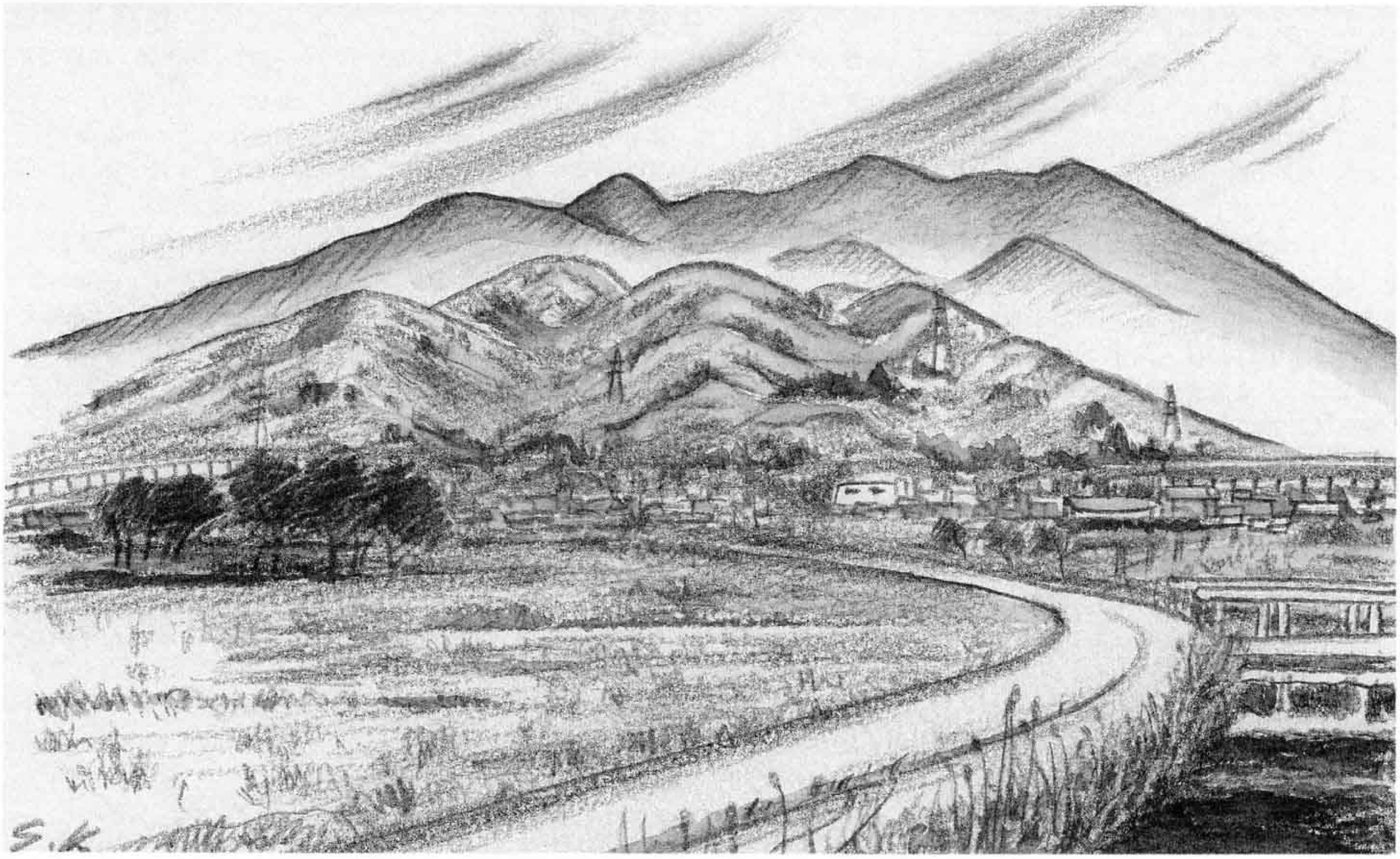

私の好きな風景 ❷

スケッチ画と文
新興美術院富士支部
小林スミ代さん
富士市中野四九〇―二三三

春山川上流

春山川は、浮島町の中ほどを流れています。子供のころは夏の間中、私たちを楽しく遊ばせてくれる川でしたが、一方で、赤子を背負った若い母親が濁流となった川にのまれた出来事を、繰り返し大人から聞かされていました。水浴びしたがけの上にも、牛車もろとも落下した農夫の碑が、ひっそりと木立に囲まれるように建っていました。

中学生になると、家族の本をそっと持ち出して上流の尾根に登り、草の上に寝ころんで大人の詩を幾つも暗唱したりして、退屈を知らずに過ごしたものでした。今思えば、自然は過酷な分だけやさしかったのかもしれません。

昭和三十七年、我が家は新幹線の高架の下に埋もれました。春がめぐるたび、一面にネジ花が群生した尾根が今もあるかどうか確信はできないけれど、バイパスを東に向かうときの私の目は、いつも変わらぬ愛鷹山の緑の樹海に引き寄せられていきます。

こちら編集室

休みをもらって、住民票を取りに行きました。土、日も開いていれば休まなくてもいいのに、なんて思いながら。実はワタクシ、富士市でお給料をいただき、税金は富士宮市に納めるという申しわけない身分なのです。

久しぶりに出かけた市役所は、何となく緊張し入りづらい所でした。皆さんも、そんな風に感じていますか。申請書を書くのにも、ぎくしゃくしたりなんかして。立場が変わって初めて気づくことって、意外にたくさんあるんですね。

6月の空は初夏。中央公園の緑の重なりのかなたに白い文化会館の外壁がまぶしく輝いています。

富士市文化振興財団では、11月のロゼシアターのオープニングに向けて、イベント記事満載の情報紙「ロゼイベントニュース」を発行。今回の広報ふじと一緒に皆さんのご家庭にお届けします。洋の東西を問わず、あらゆるジャンルのアーチストが富士市にあらわる。ウソー？ホント！そんな声が聞こえてきそうな情報紙です。あなただけの鑑賞プログラムをどうぞ。

3、5ページのスケッチ画は、菊池柾寿さんです

広報ふじは環境にやさしい再生紙を使っています

発　行・富士市役所　富士市永田町1丁目100番地　☎51－0123　人　口　230,052人　男　114,856人　女　115,196人
編　集・総務部広報広聴課　世帯数　71,289世帯　（5月1日現在）